

議会だより

● 平成28年第2回定例会

**喜茂別ファイターズ
10年ぶりの全道大会進出**

もくじ

審議された議案と結果……………P 2

一般質問要旨……………P 4

議案質疑要旨……………P 6

議会の動き……………P10



第159号
平成28年8月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会

平成28年第2回定例議会

審議された議案と結果

第二回定例会は、6月15日から16日までの2日間の会期で行われ、冒頭、町長から後志総合開発期成会要望活動、北海道知事による地域訪問、農作物の生育状況、山菜取り遭難の捜索活動、教育大綱の策定の5件の行政報告があり、続いて、小川議員、堀議員から一般質問がありました。

会期中、報告2件、人事案件1件、条例の一部改正、補正予算など、議案8件が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

諮問 第1号

自治体情報セキュリティ強化対策事業
1400万円

農村環境改善センター非常用電源設備整備事業
8000万円

担い手確保・経営強化支援事業
1050万円

報告済み

適任

報告 第1号

平成27年度一般会計継続費繰越計算書の報告

平成27年度予算で平成28年度に継続費として繰り越した次の事業の報告です。

喜茂別町開町百周年記念映像・画像作成事業
286万円

報告済み

議案 第1号

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

人事院規則の改正に伴い職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するものです。

原案可決

報告 第2号

平成27年度喜茂別町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

平成27年度予算で平成28年度予算に繰り越した次の事業の繰越明許費の報告です。

議案 第2号

北海道市町村職員退職手当組合理約の一部変更

北空知組合学校給食組合が解散により脱退した事に伴い規約変更、並びに語句の整備を行うものです。

原案可決

議案 第6号

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第1回）

特定検診受診勧奨及び特定保健指導師の人件費の組み換え、データ連携のためのシステム改修費等43万2千円を増額し、予算総額は8798万9千円となります。

原案可決

議案 第3号

北海道市町村総合事務組合理約の一部変更

議案第2号と同様、北空知学校給食組合の脱退に伴い規約の一部を変更するものです。

原案可決

議案 第7号

平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1回）

下水道事業経営戦略の策定に係る委託料600万円増額し、予算総額は1億4682万2千円となります。

原案可決

議案 第4号

北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部変更

議案第2号、第3号同様、北空知学校給食組合の脱退に伴い規約の一部を変更するものです。

原案可決

議案 第8号

工事請負契約の締結について

契約の目的 平成28年度施行
森林管理道鈴川福里線開設工事

契約金額 5400万円

契約の相手方 株式会社日道建設運輸

契約の方法 指名競争入札

原案可決

議案 第5号

平成28年度一般会計補正予算（第2回）

平成27年度会計繰越額確定による繰越金、熊本地震災害義援金100万円、多面的機能支払交付金561万2千円、経営戦略策定計画策定委託料に係る下水道事業会計繰出金600万円、人事異動に伴う職員給与費926万4千円等1907万3千円を増額し、予算総額は29億900万1千円となります。

原案可決



一般質問 要旨



地域おこし協力隊を活用したまちづくりについて



小川 泰樹議員

小川議員

本町では、第3期地域おこし協力隊5名の募集を4月からの活動開始に向けて行ってきました。

しかし、6月7日現在では、採用されている隊員はなく、7月31日まで募集期間を延長している状況にあります。

この状況が続くと、募集を断念せざるを得なくなる懸念がされます。

この現状と今後の考え方についての見解を伺います。

菅原町長

本年度において、若者や女性が活躍できる町を目指して、都市地域から本町へ定住し、町の活性化のため、自ら起業し、地域おこしに取り組む意欲的な地域おこし協力隊の活用による起業支援について、商工会が実施するチャレンジショップ事業と連携して、取り組むこととしております。このため、本年1月より起業に意欲のある人材を募集するため、独立行政法人国際協力機構JICAと協力し、独立心が強い青年海外協力隊の任期修了者を中心に募集を行ってまいりましたが、問い合わせが少なく、ことから、更に募集範囲を拡大し、一般社団法人移住・交流推進機構JOIN等を通じ、広く募集を行っておりますが、採用までに至っておりません。

この間、関係機関や周辺町村に募集状況等を確認したところ、デフレ脱却による雇用環境の激変により、協力隊のみならず、各企業などの人材の確保がこれまでも増して、難しくなってきたおり、全国的にも協力隊の応募者が集まらないといった厳しい状況になっていると伺っております。

また、協力隊を必要とする自治体間の競争が激化しており、応募者も複数の地域に応募して、知名度や条件面など、良い方を選ぶなど、これまでの募集環境が一変し、地域おこし協力隊においても、売り手市場となっており、人材の確保に苦慮しているところであります。

本町としては、本年度、商工会が国の補助を受けて、主体的に事業展開を行う、「小規模事業

者地域力活用新事業全国展開支援事業」と合わせて、要望のあったチャレンジショップ事業の取り組みに対して、商工会の実勢や意欲に期待しながら、町としての最大限の支援協力をするにととしており、協力隊の確保のため、更に本議会に補正予算として、新たな募集経費等を予算計上したところであります。

地域おこし協力隊については、起業家・後継者を育てることを目的に人材としての資源を求めるため、募集しておりますが、先に述べたように人材の確保が非常に厳しい状況にあるため、今後の募集にあたっては、柔軟な発想に立ち、幅広く人材発掘を行い、事業のパートナーである商工会と連携協力を密にしなが、継続的かつ中長期的な視点に立ち、協力隊員及び起業者の確保や、事業実施を進めてまいりたいと考えております。

新電力導入について



堀 浩和議員

堀議員

全国では、今までの電力会社から、新電力に電力購入先を切り替えることで、公共サービスの質を落とさずに経費を削減している自治体が増えてきており、すでに自由化の対象である工場、学校、商業施設、病院等では、電力会社を切り替え、電気料金の削減に成功しています。

北海道や後志管内においても、これまでの北海道電力からの電力購入を、新電力会社への電力購入に切り替えて、経費の削減に結びついている自治体や、大手スーパー、量販店等が増えてきていると聞いています。

さらに新電力導入を検討して

いる道内自治体は、7割にものぼるといふ記事もありました。

喜茂別町でも学校や役場庁舎、病院、公共施設等で使用する電力を新電力へ切り替えることで、財政が厳しい中、経費を削減できる施策の一つになると考えますが、これまでに新電力の導入についての調査や検討はしたことがあるのか、また、今後切り替えていく予定はあるのか見解を伺います。

菅原町長

ご質問内容の公共施設等を使用する電力を新電力へ切り替えることについての調査・検討状況ですが、昨年の5月に新電力大手の伊藤忠エネクス及び日本ロジテック協同組合と連携している株式会社アシストワンの二社から契約区分に応じた該当施設選定所及び参考見積書を求めました。

喜茂別町内における該当施設は、喜茂別小学校、喜茂別中学校、喜茂別笑みくな、喜茂別浄化センター、ふれあい福祉センター、農村環境改善センターの6施設となっており、参考見積



保育所運動会

書によると、6施設の合計電気料金の削減率は約5か6%程度となっており、金額にして、約70万から80万円程度の削減額になると試算しております。

その後、経済産業省より日本ロジテック協同組合が電気使用者から、支払われた賦課金を納付しなかったとして、再生可能エネルギー特別措置法に基づく、公表措置を受け、本年4月15日同協会は、東京地方裁判所に対して、破産手続き開始の申し立てを行い、同日、開始決定を受けるなど、新電力導入に対

する信用不安もあります。

本町においては、本年4月からの小売全面自由化を受け、新規事業者が多く参入する、市場動向の把握に努め、新電力導入によるメリット、デメリットを改めて精査し、入札方法・契約条項の検討や事業者選定を踏まえた上で、国の新エネルギー政策の動向を注視しつつ、本町の財政負担や、現契約者のもつ信用度、機能等を考慮し、引き続き導入についての調査、検討を進めていく所存であります。



喜茂別小学校運動会



議案の審議 要旨

議案第5号

平成28年度一般会計補正予算
(第2回)

越後議員

職員給与費926万4千円に
関して伺う。

人事異動に関してということ
であるが、私の認識が間違えで
はなければ、消防負担金に相当
額が計上されていたと思う。

異動であり、その人事体制も
あるが、消防議会の方で、マイ
ナス補正の計上もされるのか。

林総務課長

増額補正をしたが、現在、羊
蹄山ろく消防組合本部と調整中
で、9月若しくは12月の定例会
で、減額補正の予定をしいる。

越後議員

町長から全員協議会において
今回の人事に関して説明を受け

ているが、兼任の消防長が倶知
安町から派遣されていると理解
している。

費用区分は、午前と午後の勤
務時間双方にまたがっており、
規則上、この人件費は、本町が
負担するべきものなのか。

広域の事務組合に本町も入っ
ているので、実質は同じと思う
が、喜茂別町の負担の中に算入
されているのか。

菅原町長

捜索では、一晩中や一日中、
時間がかかることもあるので、
消防に関しては、はっきりと分
けることが出来るかどうかとい
う議論はあると思う。

消防組合は、倶知安町長が管
理者であり、その緊急的な対
応をしたので、今後、つめてい
くが、基本的には通勤手当とか
は、当然本町で負担していか
なければならぬのではないかと
思っている。

勤務については、倶知安町、

秋山産業振興課長

留産・比羅岡地区については、
現在、事業申請している面積は、
240.12haで伏見地区は1
39.19haを予定している。
単価については、伏見地区はこ
れから設立総会等々を予定して
いると聞いているが、留産・比
羅岡地区については、資源向上
支払い事業も予定しており、10
aあたり1480円である。

伏見地区も同程度で考えてい
るが、事業計画等が上がつてき
た段階で、精査していきたいと
考えている。

菊地議員

情報化推進費の関係で、今ま
でも色々なシステムが役場に
導入されている。

これからの時代を担うのに、
こういうシステムは必要なこと
だと思っている。

色々なシステムを導入するわ
けだが、これらのシステムがス
ムーズに役場の中で機能してい
かなければ何の意味もないと
思っている。

今回、リアルタイムシステム
が導入されているが、職員に対

して、どのような研修を行った
うえで、予算計上や事業の推進
を図っているのか。

内村副町長

情報化推進費におけるリアル
タイム仕訳システムですが、公
会計システムの関係の中で、今
後の公会計システムの展開を見
込んで、伝票等について、即時
に仕訳が出来るシステムを導入
するものである。

4月から財務会計システムを
導入しているが、職員の取り扱
い等の研修については、職員全
員を対象とし、2回ないし3回
の導入前の研修を行っている。

また、今回、導入から2カ月
程度経っているで、それぞれ職
員が、更に改善が出来ないのか
など改善点についても、導入し
たシステム会社の方に取り上げ
ていくことで、現在、意見の集
約を行っている。

また、それらのことを元に、
今後、更に使い方等の研修を必
要に応じて行っていくことを考
えている。

喜茂別町における半日ずつとい
う基本的なラインは話し合っ
ているが、緊急的なものに関して
は、ほとんど話し合われていな
い。

今後は、一部事務組合に対し、
出来るだけ喜茂別町の緊急性を
考慮しての対応を申し上げてい
る。

越後議員

先程の一般質問で、同僚議員
の協力隊の募集についての質問
において、町長は、今後の展開
についても関係団体への働きか
けをすると、答弁している。

予算書でいえば、月割減額を
したとの理解でよいのか。

報酬と賃借料については、4
月、5月の2カ月が経過してい
るが、残りの予算は残しておく
という考え方でよいのか。

秋山産業振興課長

今回の補正については、4月
から応募してきたが、現在まで



中学校交通安全啓発活動

菊地議員

こういうシステムは、我々の
年代にとって非常に不得意な部
門である。

職員の中にも、こういうこと
に精通している方、また不得意
とする方もいると思う。

人事の配置については、その
者がそのところで、充分に機能
するような形で的人事配置を考
えていかなければならないと
思っている。

今後、色々な形の中で、配慮
されると思うが、研修を積む
中で、更に人事配置においても、
やはり精通した人材を必ずその

に至っていないということ、
2カ月間、採用されなかったの
で、予算を整理した。

報酬と使用料については、そ
れぞれ2カ月分減額し、旅費に
ついては、提案説明にあった赴
任旅費と職員の旅費を計上して
いる。

館内議員

農業振興費の中で、多面的機
能支払交付金の関係で留産・比
羅岡地区、伏見地区それぞれの
面積とヘクタールあたりの金額
を教えてほしい。



鈴川小学校運動会

中に一人はおいておくというよ
うな形を考えるべきではないか
と思っている。

この関係における今後の人事
のあり方について、出来れば町
長から答弁を願う。

菅原町長

行政事務のシステムを入れる
ことによって混乱をきたしてい
るという認識は持っている。

人事に関しては、充分配慮し
たうえで、やってきたつもりで
あり、そういう職員を新たに採
用して対応している。

あるいは、新人対応の時にも
そういう意味では採用している
が、ただ間に合っていない。

この公会計を導入するにあ
たって、国の方では、これから
一般の企業と同じような形で行
政の会計、予算、決算、こうい
うものを移行させようとしてい
る。

貸借対照表など複式簿記のノ
ウハウが厳密にこのシステムの
中に導入されようとしているの
で、行政を長い期間やって単式
簿記ができていた職員について
は、非常に困難であり、一生懸

命やっているのは間違いないが、考え方はちよつと違っていることも理解しなければならぬ。

これは本町だけでなく、公務員が直面している課題であらうと思っている。

人事配置については、少ない人数であるが、なんとか外部の協力も得て、間違えのないように職員の負荷ということも十分考えて見直していきたい。

今回、町長選挙があり、今の段階では申し上げることが出来ないが、一定程度組織を、変えていかなければならない時代になってきたと考えている。



教育長杯ゲートボール大会

議案第7号

平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)

越後議員

委託料の700万円について伺う。

下水道関係については、当初、町長の執行方針の中に昨年度、策定したセンターの長寿命化処理計画、施設の長寿命化自主計画、これを踏まえてということが書かれているが、これとは別であるという説明をしたと思う。

ケース管理等を目的にこの計画を作ると理解してよろしいのか。

伊藤建設課長

国では、各自治体の公営企業が将来にわたって、安定的に事業を継続していく経営戦略を策定するよう、各自治体の方に要請されている。

その中で、水道事業の高料金対策及び下水道事業の高資本費対策に係る経費については、こ

れまで地方交付税の措置を受けている。

引き続き、交付税措置を受ける場合については、平成29年度から経営戦略の策定を要件とするようになっていく。

この場合、平成28年度中に経営戦略の策定をしなければならぬということもなっている。

本町においては、下水道事業の高資本費対策に要する経費について地方交付税措置を受けており、水道の方の高料金対策は、計上していない。

したがって、下水道の経営戦略を実施するために今回、予算を計上している。



老人クラブ花の植栽作業

越後議員

町内にある簡易水道については、平成28年までに料金の統一化を目指すということについて経過措置があり、本町も実行している。

収支の均衡を目指せという意味の国の指示があるのは理解できているが、その担保保障として、経営戦略プランを作って、収支の均衡を目指せという国の指示があると理解してよいのか。

菅原町長

今の国の流れを理解していないとなかなかこういうものを詳細に想像することすら、出来ないのではないかなというふうには思う。

今、国全体としての借金は相当な金額になっており、厳しい状況である。

その中で、地方創生を謳っているが、この財源も非常に厳しい状態である。

地方自治体は、頭を使って行動するものに対し、お金は出すと言うが、一方で、その財源は、地方から取ることだと思っている。

この背景を踏まえ、本町は淡々と第1段階はクリアしているが、それでもダメだと言われているのが経営戦略である。

更にもう一步、隣の町村と、広域合併をして、運営するには、一定程度の交付税は措置することだと思っている。

私は、青森まで行って、その会議も出てきたが、徐々にそういう形で、自主独立の行政運営をしなさいというのが、今の国の考え方ではないかと感じている。

その一環で、我々もこの計画を作ることによって、少しでも交付税の対象になるよう願っている。

この、700万円の裏打ちについても、本来であれば、100%国が措置するから、一定程度の努力はしてほしいということだが、これも確定ではない。

ただ、年限が決められているので、特別交付税の成り立ちからして、これをやらなければ、怠慢だという烙印を押される可能性も出てくるということだろうと思っている。

そういう背景があつて、今回、



羊蹄山麓正副議長会委員長研修会

急遽のようでも申し訳ないが、提案している。

越後議員

町長の答弁のように、人口減少地域における公共施設の費用の負担は、悩ましいところだろうと思う。

特に今回の下水道もそうだが、例えば本町だと、地域交通や水道事業もそうである。

これを利用者によって、収支を見通すのだとすれば、地域に住む人が更に居なくなる側面もある。

是非、そのことも頭に入れないが、それぞれの対応をしてほしいと思うが。

菅原町長

この人口減少については、なかなか打つ手がなく、ここへ来て少し収まりかけてはきているが、将来を見通せば、確実に減っていくという数字は出ている。

そこに企業誘致等で何とかしなければという思いはあるが、幸いにして、国道230号線も含めた交流人口は確保出来ている。

この地域性を踏まえて、今後、積極的に活かすことによって、収支のバランスをとっていくことも可能だと思っている。

その一端が、農業用の水道に限って言えば、メーターを付けたことによつて、余っているものを効率良く使うという点では、そこで、お金に換えていくということをしななければならない。



北海道町村議会議員研修会

議会の動き

平成28年3月17日～6月14日

3月

19日 喜茂別小学校卒業式
各議員出席

24日 鈴川小学校卒業式
各議員出席

26日 保育所卒園式
各議員出席

29日 羊蹄山麓環境衛生組合定例会
各議員出席

羊蹄山ろく消防組合定例会
各議員出席

組合議員出席

4月

1日 保育所入所式
各議員出席

6日 喜茂別小学校入学式
各議員出席

鈴川小学校入学式
各議員出席

喜茂別中学校入学式
各議員出席

11日 後志総合開発期成会道内行動（札幌市）
議長出席

15日 第2回臨時会
各議員出席

16日 老人クラブ連合会総会
副議長出席

20日 後志総合開発期成会中央行動（東京都）
議長出席

5月

9日 後志総合開発期成会定期総会
議長出席

16日 全員協議会
各議員出席

17日 JETRO羊蹄輸出機構設立総会
各委員出席

22日 喜茂別消防団春季消防演習
議長出席

24日 後志総合開発期成会後志要望（小樽市）
各議員出席

26日 後志総合開発期成会北海道要望（札幌市）
議長出席

29日 倶知安・余市道路着工式（余市町）
議長出席

30～1日 正副議長研修会（東京都）
議長出席

31日 羊蹄山麓環境衛生組合議員研修会
組合議員出席

6月

1～3日 後志総合開発期成会中央要望（東京都）
議長出席

5日 喜茂別中学校陸上競技大会
各議員出席

8日 議会運営委員会
各委員出席

9日 後志町村議会議長会臨時総会（札幌市）
各議員出席

9～10日 羊蹄山麓正副議長会臨時総会（札幌市）
議長出席

10日 北海道新幹線しりべし協働会議総会
議長出席

11日 喜茂別小学校運動会
各議員出席

14日 北海道新幹線建設促進期成会総会（札幌市）
議長出席

編集後記



6月の天候不順による農作物の生育に不安を感じる気象状況ではありますが、向こう3カ月の気象予報によると平均気温は、ほぼ平年並みか高い見込みで7月及び8月の降水量は平年並みか多い見込みと予想されており、期待しております。

さて、7月には、参議院選挙、町長選挙も終わり、菅原町長の町政4期目がスタートしました。不安定な国の政治や経済政策に惑わされる事のない、町政の舵取りを願っております。今年には本町にとって開町100周年という記念すべき一年でもあります。今、教育委員会では、100周年の記念企画として、「富士山」または「郷土富士」の絵画を全国から募集していると聞いています。先日、羊蹄山麓町村議会委員長研修で山梨県の富士山の麓の町、富士吉田市を訪れる機会があり、富士山を初めて間近で見えて思わず手を合わせてしまう自分があり、本当に羊蹄山そっくりな姿を見て改めて自分の町の景観の良さに気付かされました。全国から沢山の応募があることを期待して、作品の発表を待ちたいと思います。これから暑い日が続くと思いますが、日射病、夏バテ等には十分に気をつけてお過ごしください。

議会広報編集委員長 堀 浩和